

科目名 「 歯科衛生士概論Ⅰ 」

学年	学期	科目責任者	
1	前学期	中澤 広美	
科目ナンバリング	C-6-⑦		
単位数	2		
学修目標 (GIO)	人びとの健康を支援していくために必要な歯科衛生業務の基礎的知識及び基礎的態度を理解し、医療人としての倫理的判断及び科学的根拠を基に歯科衛生士の社会的責務を知る。		
担当教員	* 中澤 広美, * 山口 秀紀 (副病院長)		
教科書	最新歯科衛生士教本『歯科衛生学総論』 最新歯科衛生士教本『歯科医療倫理』第2版		
参考図書	新歯科衛生士教本『歯科衛生士概論』第2版 最新歯科衛生士教本『歯科衛生士と法律・制度』第2版 最新歯科衛生士教本『保健生態学』第2版		
評価方法 (EV)	最終評価は平常試験(80%) 提出物(10%) 履修態度(10%)を総合的に評価する。		
学生へのメッセージ	専任教員が歯科衛生士の実務経験を活かして、歯科衛生士としての責務について指導していく。学生の皆さんには、この授業を通じて以下のことを修得してほしい。 ・健康を支援する医療者としての心構えを学ぶとともに歯科衛生士としての社会的な役割を自覚すること ・ヒトとして他者への思いやりが持てる意識を持つこと (欠席した場合の授業・実習の補講は行わない)		
オフィスアワー	教員室17:00～18:00		
日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/18 (月)	歯科衛生学とは①	臨床経験に基づき以下の内容を説明する。 【授業の一般目標】 歯科衛生士がライフステージにおいてどのような役割を担っているのかを知るために健康の概念を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 ・歯科衛生学の定義が述べられる。 ・歯科衛生と健康のかかわりを説明できる。 ・ライフステージに関わる歯科衛生活動を説明できる。 ・歯科衛生活動の領域を説明できる。 ・歯科医療保健に携わる人たちが述べられる。 ・チーム医療について説明ができる。 【準備学修項目】 予習(30分): シラバスを確認すること。 最新歯科衛生士教本「歯科衛生学総論」第1章を読み、歯科衛生と健康について自分の考えをまとめる。 復習(30分): 健康を衛る歯科衛生士の役割についてまとめる。 【アクティブラーニング】 有: グループディスカッション 【学修方略 (LS)】 ・講義・レポート	* 中澤

<p>第2回 4/25 (月)</p>	<p>歯科衛生士の略史 歯科衛生士の役割</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を説明する。 【授業の一般目標】 歯科衛生士としての職業意識向上のために歯科衛生士の時代背景と歯科衛生士の役割について理解する。 【行動目標(SBOs)】 ・日本の歯科衛生の誕生と経緯について説明できる。 ・歯科衛生士の誕生についての概要が説明できる。 ・歯科衛生業務が述べられる。 【アクティブラーニングの有無】 無 【準備学修項目】 予習(30分):最新歯科衛生士教本『歯科衛生学総論』第2章を読み, 歯科衛生士の誕生経緯を理解する。 復習(30分):日本の歯科衛生士の略史についてまとめること。 【アクティブラーニング】 有:グループディスカッション 【学修方略(LS)】 ・講義・レポート</p>	<p>* 中 澤</p>
<p>第3回 5/2 (月)</p>	<p>歯科衛生士の 法的位置づけ</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を説明する。 【授業の一般目標】 歯科衛生士の法的責務を知るために歯科衛生士の法的位置づけを理解する。 【行動目標(SBOs)】 ・歯科衛生士法に基づく歯科衛生業務について概説できる。 ・歯科衛生士の業務独占について説明できる。 ・歯科衛生士の名称独占について説明できる。 ・歯科衛生士の法的義務について説明できる。 ・歯科衛生士の専門性について概説できる。 ・歯科衛生業務に関連する法規が列挙できる。 【準備学修項目】 予習(60分)最新歯科衛生士教本『歯科衛生学総論』第5章を読み, 歯科衛生士の略史と関連付ける 復習(60分)歯科衛生士法に基づく歯科衛生士の責務を理解する。 【アクティブラーニング】 有:グループディスカッション 【学修方略(LS)】 講義・レポート</p>	<p>* 中 澤</p>
<p>第4回 5/9 (月)</p>	<p>歯科衛生士と 健康の概念①</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を説明する。 【授業の一般目標】 人びとの健康支援を実施するために必要な歯科衛生業務の役割を理解する。 【行動目標(SBOs)】 ・生活行動と保健行動について説明できる。 ・QOLについて説明ができる。 ・口腔保健におけるQOLの向上について説明ができる。 ・ADLについて説明できる。 ・患者の行動特性について述べられる。 ・歯科衛生士としてどのように患者対応したらよいか説明できる。 ・人びとを第一に考えた健康づくりを支援する理由を説明できる。 【アクティブラーニングの有無】 有 【準備学修項目】 予習(30分):最新歯科衛生士教本『歯科医療倫理』付章を読んでおくこと。 復習(30分):前期勉強したことを復習し, 歯科衛生士として健康を支援する責務をまとめること。 【学修方略(LS)】 講義, グループワーク・レポート</p>	<p>* 中 澤</p>
<p>第5回 5/16 (月) 第6回 5/23 (月)</p>	<p>医療人としての心構え ① 医療人としての心構え ②</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を説明する。 【授業の一般目標】 早期臨床実習①に臨むために必要な社会人としてまた医療人としてのマナーを身につける。 【行動目標(SBOs)】 ・医療人としてふさわしい身だしなみについて述べ, 実施することができる。 ・医療人としてふさわしい態度について述べられ, 実施することができる。 ・患者さんとのコミュニケーションの必要性を説明できる。 ・病院スタッフ間でのコミュニケーションの必要性を説明できる。 ・歯科衛生業務を実践するために必要なことが説明できる。 【準備学修項目】 予習(60分):患者さんが求める医療人とはどのような人なのかを考えてくること。 復習(60分):付属病院における臨床実習心得を理解する。コミュニケーションの必要性をまとめること。 【アクティブラーニング】 有:グループディスカッション 【学修方略(LS)】 講義, グループワーク, ロールプレイ, 院内見学, レポート</p>	<p>* 中 澤 * 山 口</p>

<p>第7回 第8回 5/30 (月)</p>	<p>早期臨床実習①</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を説明する。 【授業の一般目標】 付属病院の歯科衛生士の役割を知るために、早期臨床実習を通じて必要な知識・技能・態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 ・付属歯科病院における臨床実習心得を実施できる。 ・医療人を目指す者としてふさわしいコミュニケーションがとれる。 ・各科歯科衛生士の役割が説明できる。 【準備学修項目】 予習(60分):第4回5回で学んだことを復習すること。 付属病院における臨床実習心得を理解すること。 復習(60分):付属病院での歯科衛生士の役割をまとめる。 3年生の実習姿をみて感じたこと、医療人にふさわしいコミュニケーションとはどのようなものかをまとめる。 【アクティブラーニングの有無】 有:グループワーク 【学修方略(LS)】 見学実習(3年生の付属病院実習に同行をする。) *レポート課題あり ★5/30(月) 歯科保健指導論 I と振り返る。 詳細は後日発表する。</p>	<p>* 中 澤</p>
<p>第9回 6/13 (月) 第10回 6/20 (月)</p>	<p>歯科衛生活動のための理論① 歯科衛生活動のための理論②</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を説明する。 【授業の一般目標】 歯科衛生活動における予防の概念を理解するために歯科衛生活動の科学的思考について修得する。 【行動目標(SBOs)】 ・予防の概念を理解できる。 ・WHOにおける健康の定義を述べられる。 ・健康と生活を分析する科学的思想の種類が述べられ、それらの説明ができる。 ・保健行動の理論を説明できる。 ・ヒューマンニーズ理論を説明できる。 【準備学修項目】 予習(60分):最新歯科衛生士教本『歯科衛生学総論』第3章を読み、口腔からの健康支援だけでなく、広く健康支援について自分の考えをまとめる。 復習(60分):健康を分析する科学的思想を、歯科衛生指導にどう関連付けるかまとめること。 【アクティブラーニング】 有:グループディスカッション 【学修方略(LS)】 講義, グループワーク・レポート</p>	<p>* 中 澤</p>
<p>第11回 6/27 (月)</p>	<p>臨地実習前の心構え</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を説明する。 【授業の一般目標】 幼稚園・小学校での歯科衛生教育の実際を知るために必要な知識・態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 ・実習生としてふさわしい身だしなみ・態度について述べられる。 ・学生同士のコミュニケーションの大切さを述べられる。 ・園児・児童とのコミュニケーションの大切さを述べられる。 ・対象者別の歯科衛生教育について説明できる。 【準備学修項目】 予習(30分):今まで学んできたことを復習し、なぜ歯科衛生教育が必要なのかまた学年別の児童との関わり方について考えて臨むこと。 復習(30分):幼稚園・小学校での歯科衛生教育で大切なことは何かを考え、まとめること。 見学実習対象児(者)の歯科衛生教育についてめとめる。 【アクティブラーニング】 有:グループディスカッション 【学修方略(LS)】 見学実習(3年生の歯科衛生教育実習に同行。) *レポート課題あり</p>	<p>* 中 澤</p>

<p>第12回 第13回 6/30 (木)</p>	<p>早期臨床実習②</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を説明する。 【授業の一般目標】 歯科衛生教育の実際を知るために幼稚園・小学校での歯科衛生教育実習を通して必要な知識・技能・態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 ・実習生としてふさわしい身だしなみ・態度・コミュニケーションができる。 ・歯科衛生教育における歯科衛生士としての役割を説明できる ・対象児(者)別の対応ができる。 【準備学修項目】 予習(30分) 今まで学んできたことを復習すること。なぜ歯科衛生教育が必要なのかまた幼稚園・小学校の年齢別関わり方について考えて臨むこと。 復習(30分):自分が見学した対象児(者)の実際はどうだったか、コミュニケーションの取り方はどうだったか、3年生の動きはどうだったか等、今後活かせるようにまとめること。 【アクティブラーニング】 有:グループディスカッション 【学修方略(LS)】 見学実習(3年生の歯科衛生教育実習に同行) *レポート課題あり ★ 6/25(木)早期臨床実習Ⅱの場合、歯科診療補助論Ⅰと振り返える。 詳細は後日発表する。</p>	<p>* 中 澤</p>
<p>第14回 7/25 (月)</p>	<p>歯科衛生士の活動</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を説明する。 【授業の一般目標】 歯科衛生士として保健・医療・福祉のニーズを知るために歯科衛生活動領域について理解する。 【行動目標(SBOs)】 ・歯科衛生士活動の種類・業務内容の概略が説明できる。 ・歯科衛生士の社会的組織活動の領域と組織活動を説明できる。 ・保健・医療・福祉の連携について説明できる。 ・歯科衛生活動の場に関連した法律および制度について理解し、説明できる。 【準備学修項目】 予習(30分):最新歯科衛生士教本『歯科衛生学総論』第7章を読み、歯科衛生士に関わる社会的組織を理解すること。 復習(30分):歯科衛生活動の種類や業務、社会的組織をまとめること。 保健・医療・福祉の連携についてまとめること。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略(LS)】 講義・レポート ★6/25(木)早期臨床実習Ⅱの場合、 歯科診療補助論Ⅰと歯科保健指導論Ⅰ振り返える。 詳細は後日発表する。</p>	<p>* 中 澤</p>
<p>第15回 7/27 (水)</p>	<p>平常試験 および 解説講義</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を説明する。 【授業の一般目標】 歯科衛生士概論Ⅰで修得した知識確認のため客観的試験を実施する。 【行動目標(SBOs)】 ・歯科衛生士概論Ⅰで学んだ基礎知識および基礎態度を理解し記述できる。 ・歯科衛生士としての社会責務が記述できる。 【準備学修項目】 予習(180分) 歯科衛生士概論Ⅰを復習して臨むこと。 復習(60分) 平常試験の振り返りをし、誤ったところを正しく覚えなおすこと。 【アクティブラーニング】 有:グループディスカッション 【学修方略(LS)】 客観試験および解説講義</p>	<p>* 中 澤</p>